

岡谷市公共施設等総合管理計画（案）パブリックコメントの実施結果について

平成28年4月22日（金）から平成28年5月16日（月）まで意見募集を実施しましたところ、4人より貴重なご意見をいただきました。これらのご意見と、ご意見に対する市の考え方は下記のとおりです。

○提出された意見の件数 メールによるもの：1件 FAXによるもの：2件 持参によるもの：1件

No	意 見 要 旨	市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設の費用は大部分を市として負担している状況であり、施設の利用については、多くの団体が減免を受けているかと思えます。公共施設の維持管理費の実態から、減免制度の廃止とは言わないまでも、「理解を得ながら減免の幅を見直してゆく」というような具体的な記述があっても良いと考えます。 ・ 推進にあたっては、実態の周知が不可欠です。市民等との協働に書かれている通り、より多くの方の理解が得られるよう、情報提供の方法なども工夫をして頂きながら、この計画が確実に実行され、公共施設の維持管理が将来の岡谷市の大きな負担にならないように望みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料、手数料などの見直しについては、行財政3か年集中プランの推進項目として3年毎見直すものとしており、行政サービスに対する「公益性・公平性」を確保するため、施設の設置目的に照らして、利用状況や維持管理経費の精査など受益者負担の観点から、今後も、引き続き適正化を進めてまいりたいと考えています。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標値8%のため、10から12%を計画上で目指す必要があると考えます。 ・ 施設の統合等を検討し、利用の継続を確保することが必要であり、若干のサービスの低下も勇気を持って進めていくことを望みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数値目標については、ファシリティマネジメントの取組の実効性を確保し、市民の皆様と課題意識を共有させていただくため設定しております。目標達成のためには、市民の皆様との情報共有を行いながら、着実に進めてまいりたいと考えています。

3	<ul style="list-style-type: none"> ・統合、廃止については、市民の声に耳を傾け、廃止等する理由について、明確にする必要があると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づく具体的な取組みについては、市民や利用者の皆様との情報の共有を行いながら、皆様からのご意見を踏まえ、進めてまいりたいと考えています。今後も市民参画のもとで進めてまいります。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・財政負担を軽減するためにも今ある施設を修繕しながら長く使うことが大切であり、時代にあったニーズに応えるため、方向転換しながら有効活用の検討や行政や民間、市民などとの協働により、可能性を見出し、市全体での取組を望みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の長寿命化については、修繕・改修等を検討する際の選択肢の一つとして検討してまいります。また、「新しい時代に即した将来のまちづくり」を見据える中で、本市の持つ魅力を高め、公共施設等の老朽化に対し様々な視点で検討してまいります。